

平成 1 6 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	1 1	学校名	県立北茨城高等学校			課程	全日制		学校長名	舟橋 正隆						
教頭名	鈴木 幸男								事務(室)長名	鈴木 修平						
教職員数	教諭	2 3	養護教諭	1	常勤講師	8	非常勤講師	3	実習教諭, 実習講師, 実習助手	2	事務職員	2	技術職員等	2	計	4 1
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	5 7	8 1	5 2	7 9	5 3	5 4			1 6 2	2 1 4	1 2				
	科															

2 目指す学校像

教育基本法，学校教育法及び本県教育の目標を踏まえ，社会に貢献する有能な人材を育成するとともに，創造性に富み，自ら考え行動できる力を培うことを目的とし，その実現を期するため，学校・家庭・地域社会の連携のもと，新しい時代を切り拓く心豊かな人間性や社会性を育むとともに，地域社会に期待される学校づくりを目指す。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	基礎学力及び学習意欲が不十分である。	如何にして基礎学力の向上を図り，学習意欲を喚起するか。
進路指導	大学進学率は昨年度より上昇傾向にあるが，その希望者の達成率は低い。就職内定率もやや低い。	希望進路実現をどう推進していくか。
生徒指導	喫煙の指導が最も多い。服装，マナーが十分でない。	問題行動の未然防止と規範意識の高揚をどう推進するか。
特別活動	部活動がまだ十分に活性化されていない。	如何にして部活動への加入を促進し，その活性化を図るか。

4 中期的目標

- 1 生徒自らの意欲的な学習を促すために、教育課程の編成及び改善を図り、特色ある学校づくりを目指す。
- 2 教育相談及びカウンセラーを活用し、心の教育を推進するとともに、規範意識の高揚を図る。
- 3 社会性を育むとともに、いきいきした学校生活を送れるよう部活動への加入を促進し、その活性化を図る。
- 4 学校内外のボランティア活動を積極的に推進し、地域社会に貢献するとともに、奉仕の精神を養い、福祉の心を育む。
- 5 各種検定・職業資格取得の指導を通して学習意欲を高め、将来の職業選択への意識向上を図る。
- 6 希望進路実現のため、進路ガイダンスや個別面接、きめ細かな進路指導や課外指導などの充実を図る。

5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	3年間を見通した計画的な基礎学力の向上の実施	校内に基礎学力向上委員会を設置し、各教科の朝ドリルの実施や英語、数学の習熟度別学習など、教科指導の改善・充実を図る。	
	希望進路実現を図る進路指導の実施（1年目）	進路指導及び就職指導の充実を図るため、進路ガイダンスや個別面接、課外指導を充実させる。特に、就職内定率を高めるために、各種検定・職業資格取得の推進を図る。	
	問題行動の未然防止と規範意識の高揚を図る。（1年目）	家庭やPTA、関係諸機関との連携のもと、全校集会やPTA総会、講演会等あらゆる機会を通して、規範意識の高揚（特に服装・マナー）と喫煙等の問題行動の防止を図る。	
	放課後の部活動に全教職員があたり、学校の活性化を図る	放課後の部活動では、常に生徒とともに顧問教師も同席し、生徒同士、教師と生徒との望ましい人間関係を育成するとともに、部活動の活性化、ひいては学校の活性化を図る。	
2年次	基礎学力の向上を図る（2年目）	1年次の朝ドリルの実施や英語、数学の習熟度別学習などの達成状況を踏まえ、さらに教育効果を高めるための教科指導の改善・充実を図る。	
	希望進路実現を図る進路指導の実施（2年目）	1年次の進路指導状況を踏まえ、進学指導の充実とともに、インターシップの推進や各種検定・職業資格取得を推進し、就職内定率等のアップを図る。	
	問題行動の未然防止と規範意識の高揚を図る（2年目）	1年次の達成状況を鑑み、指導内容・指導方法等を改善し、より効果的な規範意識（特に校則）の高揚と問題行動の未然防止を図る。	
	ボランティア活動を推進し、福祉の心を育む。	学校内外のボランティア活動を通して、地域社会に貢献するとともに、奉仕の精神を養い、福祉の心を育む。	
3年次	基礎学力の向上を図る（3年目）	基礎学力向上委員会を中心に、2年次の達成状況を詳細に分析し、さらに学力向上につながる教科指導の方法・内容等の改善・充実を図る。	
	希望進路実現を図る進路指導の実施（3年目）	2年次の目標と達成状況を比較検討し、目標に至らなかった点をさらに分析し、新たな目標を立て、希望進路実現を図る。	
	規範意識の高揚と心の教育の推進を図る	2年次の達成状況を鑑み、指導内容・指導方法等を改善し、より効果的な規範意識（特に公共マナー）の高揚を図るとともに、人権教育や道徳教育を充実させ、心の教育を図る。	
	生徒主体の特別活動の充実を図る	クラスマッチ、文化部発表会などの企画・運営を生徒主体とするなど、生徒の自主性を尊重した学校行事とする。	